

議 平生町 議会だより

第 104 号

2007年7月27日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 田中 稔
編集 議会広報広聴調査特別委員会



「おはようございます」元気で明るい声かけをしました(7月9日 平生小学校)

6 月
議会報告
いっぱい質問

臨時議会、新体制がスタート

2ページ

定例会

3ページ

委員会審査報告

4ページ

いっぱい質問

5ページ



藤村 政嗣 副議長



田中 稔 議長

臨時議会

新体制がスタート

議長 田中稔 副議長 藤村政嗣

4月の選挙で当選した新しい議員による初めての議会が6月1日に行なわれ、議会構成が決まりました。

議長には田中稔議員、副議長には藤村政嗣議員が選出されました。各常任委員会の委員長、副委員長および委員の選任、さらに、一部事務組合議会の議員の選出も行なわれました。

就任の挨拶

合併や少子高齢化など、重要課題が山積する中で議長、副議長に就任し、身の引き締まる思いです。

議会は12人で構成されています。一人ひとりが自分の理念を持ち、自らの責任で活発な論戦をすすめて、平生町の将来を見出ししていくことが議会の責任だと考えます。

一人ひとりの発言は市民の意見の代弁です。それぞれの意見を大切にしてい、公正で円滑な議会運営を、みなさんと力を合わせて進めてまいります。

総務厚生常任委員会



- 大井 哲也
- 福田 洋明
- 副委員長 河内山宏充
- 委員長 淵上 正博
- 平岡 正一
- 田中 稔

産業文教常任委員会



- 河藤 泰明
- 藤村 政嗣
- 副委員長 柳井 靖雄
- 委員長 細田留美子
- 吉國 茂
- 岩本ひろ子

議会運営委員会



- 淵上 正博
- 柳井 靖雄
- 副委員長 平岡 正一
- 委員長 河内山宏充
- 福田 洋明
- 細田留美子

| | | |
|--------|--------------|-------------------|
| 一部事務組合 | 田布施平生水道企業団 | 吉國 茂 淵上 正博 河藤 泰明 |
| | 熊南総合事務組合 | 平岡 正一 河内山宏充 柳井 靖雄 |
| | 周東環境衛生組合 | 細田留美子 大井 哲也 |
| | 柳井地区広域消防組合 | 藤村 政嗣 |
| | 熊南地域休日診療施設組合 | 河内山宏充 岩本ひろ子 |
| | 柳井地域広域水道企業団 | 柳井 靖雄 |
| | 柳井地区広域事務組合 | 田中 稔 |
| 監査委員 | 福田 洋明 | |
| 農業委員 | 平岡 正一 細田留美子 | |



定例会 地方債残高135.3億円

平成19年第4回平生町議会定例会が、6月18日から8日間の日程で開かれました。議案は町長から提案された条例1件、事件2件、同意2件の5件と、議員提出議案1件の計6件です。議案は全会一致または賛成多数で可決承認されました。

一般質問では新人議員を含む6人の議員が登壇し、町政の諸課題の取り組みについて質問をしました。

町長は、町議会議員選挙後、初めての議会で町としての考え方を次のように述べました。

市町合併に対する町の基本的スタンスとしては、合併新法の期限である平成21年度までに、県の示した枠組みの中で、当面は熊毛郡3町の共同歩調の礎を構築し、この地域の大同団結に向けて精力的に推進をはかっていきます。

財政状況については、17年度決算における実質公債費比率は17.6%でボーダーライン18%のぎりぎりの位置となっております。地方債残高は、一般会計で73.9億円、特別会計を含め全会計では135.3億円という状

況にあり、財政指標的には硬直化が現われているものの、財政運営には注意しながら当たっているため、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債を含めても一般会計における残高は減少していきます。

今後においても、行財政改革を推進するとともに、歳入の確保、特に税源委譲に伴う徴収額の膨張に対する取り組みの強化と新規財源の確保をはかっていきます。

また、ゴルフ場跡地の有効利用、国際貿易港の背後地である阿多田地区の国有地の有効利用など地域活性化の取り組みを重視していきます。

副町長、監査委員 の選任に同意

副町長 佐竹秀道氏 監査委員 福田洋明氏

平生町副町長の定数を定める条例に基づき、副町長を選任することに同意しました。

副町長は、国の三位一体の改革の中で、持続可能な行財政基盤の確立をはかるため、行財政改革を進め、企業誘致などのトップマネジメントを発揮するためにおくものです。

議会選出の監査委員の任期は平成19年5月31日までとなっております。引き続き、福田洋明議員を選任することに同意しました。



福田 洋明 監査委員



佐竹 秀道 副町長

閉会中の所管事務等の調査項目

| 委員会名 | 調査項目 |
|-----------|--|
| 総務厚生常任委員会 | 1. 地域振興について 2. 行財政改革について 3. 市町合併について 4. 税の徴収対策について 5. 高齢者・障害者医療福祉について 6. 少子化対策について 7. 環境問題について |
| 産業文教常任委員会 | 1. 農林水産業振興について 2. 観光振興について 3. 下水道事業について 4. 建設事業について 5. 教育施設の充実に ついて 6. 学校施設における 児童生徒の安全確 保について |

この6月定例会会期中の常任委員会で、それぞれ調査項目を定めました。

各常任委員会は、議決により閉会中もそれぞれ所管する事務について調査することができます。

委員会審査報告

総務厚生 常任委員会

6月20日に開かれ、付託議案2件は全会一致で承認されました。

議案第1号は、平生町課制条例の一部を改正する条例で、平成19年7月1日から副町長の設置により、平成17年2月から設置している政策調整室を廃止するものです。

議案第2号は、財産の無償譲渡についてで、般若寺身体障害者用トイレを無償にて譲渡するものです。

産業文教 常任委員会

6月21日に開かれ、付託議案1件は全会一致で承認されました。

議案第3号は、工事請負契約の締結についてで公共下水道の地域拡大のため、宇佐木地区の国道188号線の車道敷において、高須交差点から田布路木方面へ、汚水幹線管渠、約396mを敷設するものです。



吉國 茂 議員

いっぱん質問



急がれる県道の拡幅（水場地域）

質 県道光上関線水場地区の拡幅計画は

答 状況を見ながら要望していく

質問

田布施町から南周防大橋を渡ってくると、上関方面は阿多田地区開発地域があり、左側には工業団地がある。

しかし、県道光上関線水場地区は、昔のままの県道で狭隘である。

ある企業の方が阿多田地区輸出バスを見に来られ「輸出バスに備え付けのクレーンがない」「トレーラーが通ると、ちよっと県道が狭い」「周辺地区の輸出バスと比べてメリットがない」と言われたと聞く。

答弁 町長

阿多田地区に企業誘致するには県道拡幅が必要であるので、県にも強く要望してはどうか。

水場地域における県道は、生活道路としても産業活動においても大変重要な路線である。

現在、阿多田、平生港に入る県道の改良工事を行っているが、改めて全体の改良工事が必要だと感じている。

県の状況も見計らいながら、これからお願いしていく。



河藤泰明 議員

質 安心安全なまちづくりについて

答 救急診療所の開設に取り組む

質問

小児科医療体制と高齢者の健康増進への取り組みについて尋ねる。

答弁 町長

小児科医療については、休日、夜間の救急診療所の開設に向けて取り組みを進めている。

高齢者の健康増進については、社協、ボランティアの協力を得て、筋力向上トレーニングの事業を実施している。

また、保健センターのメンバーを中心に、健康ほかほか体操教室を、年8回実施している。

再質問

町民に対し、小児科医療の現状や問題点、介護予防への取り組みの理解できる環境づくりはどうか。

再答弁 町長

適正な受診についての啓発を、これからさらに広報やお知らせ版などを通じてやっていく。

要望

子供たちは、私たちの宝であり、お年寄りも私たちの財産である。財政や市町合併などと同様に力を入れてほしい。

その他の質問

職員の接遇について。



大切にしたい子どもの笑顔

質 上関原発建設で町民の生活と安全はどう守るか
答 町民の声をしっかり聞いていく



上関正博 議員



試掘調査中の田ノ浦海岸

質問

全国の電力会社では、トラブル隠しが横行している。中でも原発のトラブル隠しは97件にのぼっている。この中で3件は臨界事故を起こしている。安全より利益を優先する企業体質の中で上関に原発は建設させられないと思うが、上関に原発が建設されるとしたら、町民の生活と安全はどう守るのか。

答弁 町長

原子力発電所立地で、町民の安心・安全を守つ

再質問

ていくという立場から、町としてやれる具体的な対処方針ということになれば、国民保護計画の関連となる。

日本共産党のアンケートでは、建設反対が60%、賛成が14%となっている。この町民の意見をどう思うか。

再答弁 町長

町民も、安全性の問題については特に関心が高い。

アンケートの声も踏まえながら安全の確保について町としてしっかり対応していく。

その他の質問

町営住宅の整備計画は。

質 子どもの読書環境の整備は

答 関係機関との密接な連携をとっていく



細田留美子 議員

質問

子どもの読書環境の現状と課題の取組を聞く。

1. 図書館相互のネットワークは取られているか。

2. 学校司書の活動は。

3. 策定中の「平生町子ども読書活動推進計画」のねらいや方針は。

答弁 教育長

1. 他市町および県立の図書館、学校との密接な連携をとっている。
 2. 図書担当になった教諭が全体計画の立案と実践をしている。
 3. 読書ボランティア活動など、町民参加型の促進や関係機関と連携、協働した読書活動の推進をはかりたい。

再質問

忙しい司書教諭への対応と町内関係者の集まりの場の確保はできないか。推進計画の策定委員へ十分な情報の提供はされているか。

再答弁 教育長

夏休みなど利用して、本の整理などを多くの教諭の協力を得ている。情報提供はしていく。

要望

子ども達の本好きな芽を育てるよう、より一層の環境整備をはかった推進計画を作って欲しい。

その他の質問

地域自治協議会は作れないか。



本好きな子どもに育ててね



藤村政嗣 議員

質 高齢者の安心・安全対策は

答 リストの整備に取り組む



平成19年度 平生町行政協力員会議 (平生地区)

質問

1. 平生町内に、65才以上の高齢者が半数を超え共同体の維持が困難になる「限界集落」が存在するか。

2. 昨年の春から国が各自治体に求めている災害時の要援護者リストは出来ているか。

答弁 町長

1. 65歳以上の人口比率が50%以上の区域が11ある。

(大野地区5、曾根地区1、佐賀地区5)
2. 民生委員は把握しているが、リストの整備

再質問

地域での実動部隊となる自治会長への情報提供は可能か。

再答弁 町長

行政から直接自治会長に情報を流して良い場合と、そうでない場合がある。十分配慮しながらやっていく課題だろうと思う。

その他の質問

市町合併について。

質 長期的に見た町財政は
答 財政再建に努力する



田中 稔 議員

質問

今後20〜30年という長期スパンでの少子高齢化の進行は、町財政に深刻な打撃となって来る。2007年と2030年における労働人口の比率は19%減、逆に高齢者人口は30%の増と試算される。

直接的に影響を受けるのが高齢者医療と介護保険で、町民および町の一般会計にも大きな負担増となるのが推測される。ただでさえ苦しい町の財政をどうするのか、町長の骨太の方針を聞く。

答弁 町長

今後、財政が成り立たないことはほとんどの自治体に共通している。国も制度の見直しを目まぐるしく行っている。この状況の中で町としてできることはせいぜい中期展望を持ってやっていく位

再質問

中長期の財政については、国の交付税などの不確定要素はあるものの、一定の青写真は必要であると思う。

その展望をもとに町民にわかりやすく周知していけないか。

再答弁 町長

広報などで、できるだけわかりやすい表現で説明していきたい。

要望

現時点でのわかりうる情報で、中長期の財政状況を試算してほしい。

その他の質問

企業誘致について。

議会広報広聴調査特別委員会

よろしくお願ひします

私たちが今後2年間
議会だよりをお届けします。



新人議員3人を含んだ
私達6人が今回からの
「議会だより」を担当し
ます。
気軽に手に取ってもら
い、読んでもらえる広報

づくりをめざして頑張り
ます。
投稿コーナーなど、み
なさんご意見をお待ち
しています。

- 河藤 泰明
- 岩本ひろ子
- 副委員長
藤村 政嗣
- 委員長
細田留美子
- 淵上 正博
- 大井 哲也

議会の動き

- (H19・5/21~19・6/17)
- 5月21日 第2回臨時議会
議会全員協議会
議員懇談会
- 5月22日 中国地区町村議会議長会
会長・事務局長会議
- 5月22日~23日 第32回町村議会議長研修
会
- 5月23日 平成19年度第1回平生町
土地開発公社理事会
- 6月1日 第3回臨時議会
議会全員協議会
- 6月5日 議会運営委員会
- 6月8日 議会全員協議会
- 5月24日 第17回柳井広域シルバ
人材センター通常総会
- 5月24日 全国町村議会議長会理事
会
- 5月25日 全国町村議会議長会都道
府県会長会及び関連会議
会
- 5月28日 平成19年柳井地区広域事
務組合議会第1回臨時会
- 5月29日 町戦没者追悼式

原稿募集

議会のこと、我が町自慢
つれづれに思うこと何でも結構です。

字数 400字以内
締切日 平成19年9月28日
提出先 平生町役場議会事務局
議会広報担当者係

紙面の都合で一部変更することもあります、
ご了承願ひます。
掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

▼田畑の緑が一日毎に濃くなり、夏野菜がおいしい季節となりました。
新鮮な地場の野菜を使った料理は身も心も元気にしてくれます。明日を担う子ども達のためにも食を大切にしたいものです。

▼さて、新しい構成になって初めての議会だよりをお届けします。予算の関係でコンパクトにはなっていますが、中身は充実したものにさせようと知恵を絞りました。

▼例年6月は議案の少ない議会ですが、各委員会では活発な議論がなされました。

9月議会は決算認定もあり、前年度の予算が無駄なく適正に使われているか審議します。

その他補正予算など多くの議案が提案される予定です。

▼委員会の審議では活発な質疑の様子を見ることが出来ますので、ぜひ傍聴にお越し下さい。お待ちしております。

細田留美子